

男性の料理教室開催



9月20日、「男性の料理教室」が開催されました。今回は土曜日開催のため、東条会館厨房をお借りしての開催となりました。

参加者は、料理は初めての方、始めたばかりの方、既に色々な料理教室に参加経験のある方と様々な男性5人と指導をして頂いた若槻食生活改善推進協議会の方々の計9人。



カブときゅうりの浅づけ、りんごは差し入れです。

メニューは電子レンジで簡単に作れるキーマカレー

(焼きナスと目玉焼きを添えて)、野菜たっぷりのスープ。ワイワイと楽しく1時間程で調理を終えて試食会となりました。「美味しい」「簡単」「スープがすごく甘い」と評価も上々。

2回目も予定しています。広報にご注目ください。

(健康部会)



なれた手つきで次々とこなしていました。

人権に関する作文 (若槻小学校) 発表



コミわかでは人権教育・啓発活動の一環として、小中学校の児童・生徒さんに人権に関するポスターや作文を寄稿していただいています。今回は若槻小学校児童の作文です。この機会にぜひご家族で人権について考えてみませんか？

(人権教育部会)

「ありがとう」

若槻小学校 A・Y

この言葉は、人を元気にし、心を温かく包み込む不思議な魅力をもった言葉だと思う。元々は「めったにないこと」という意味の形容詞「有り難し」が音便化したものである。枕草子には「ありがたいもの」と題して、「存在しがたいもの」として挙げられている。

そんな言葉が、いつの頃からか一般的なお礼の言葉として使われるようになり、今では世界中の人々が知る言葉へと成長した。

私は、必ず仲間に「ありがとう」という言葉を忘れないようにしている。しかし、自分もこの一言が言えないときが多々ある。毎日自分の生活を支えてくれる両親に、会えば笑顔で声をかけてくださる地域の方に。言わなければいけないのは分かっているのになかなかできていない。親には、すぐにお礼を言うことはできていると思う。でも私は、時々恥ずかしくなってしまうこともある。次からは、恥ずかしがらないで言ってみよう！

将来はすぐにお礼が言えて、人を笑顔にできるといいな。

「人とのつながり」

若槻小学校 R・K

僕のお父さんお母さんは「人に会ったら大きな声であいさつをしなさい。」といつも言います。僕はあいさつの重要さをあまりよく分かっていませんでした。正直おじいちゃんおばあちゃんの家に行っても照れくさくてあいさつが出来ていない時もありました。家族が見ていたテレビで、あいさつは防犯になると言っていました。正直そんなかんたんに防犯ができるわけないと思いました。

僕は万引きしたことはないけど、あいさつをされるとみられている感じがして悪いことはできないと思うし、あいさつは相手の存在を認める一番小さな行動なのかも、と思いました。あいさつには防犯という視点から自分を守る力と、大切に思っていると伝える力があると思いました。あいさつを大きな声ですることによって周りの人とのきょうりがちぢまり、温かい気持ちになり、人と話すきっかけにもなるなと思いました。

僕はあいさつには自分や相手を守り、大切にできる力があると思います。だから僕はこれからも、おはよう、こんにちは、ありがとう、おやすみなさいといったようなあいさつを続け、人とのつながりを大事にしていきたいです。